



~令和4年度家庭教育学級補助金の申請を受付けています~

対象団体	保育園、幼稚園、小学校及び中学校の父母の会やPTA等
要件	参加予定人数を 20人以上 とすること 実施時間が 2時間以上 とすること 実施場所が墨田区内であること 参加者の募集は補助対象団体構成員だけに限らないこと
対象となる活動経費	講師謝礼、保育協力謝礼、会場使用料、事務用品・印刷費用等
対象となる活動の例	講演会・学習会の開催 子どもと一緒に開くスポーツ大会、地域交流(講師による講義を含むもの)
補助金額	1団体1回 上限 29,000円
補助団体	年間 先着13団体 程度
申請受付	令和 5年2月10日(金) まで、申請の受付をいたします。 所定の様式を区ホームページ、墨田区役所地域教育支援課(墨田区役所11階)で配布しています。必要事項を記入の上、郵送、もしくは直接窓口へ持参してください。

補助金交付についての詳細や申請書等の書式は、右記QRコードをご覧ください。



区ホームページ

活用事例紹介

今年度、補助金が活用された事例をご紹介します。

テーマ 「幼児期の運動遊び」~親子で体を動かそう~

ねらい 幼児期に体験させたい運動遊びについて学ぶ 親子ふれあい遊びを体験する

実施時期 令和4年9月下旬

参加人数 100人超

主催者・参加者の

声

楽しかったという声をたくさんもらい、やってよかったと感じた!

これから親子で運動回数を増やしたい!

色々な運動を知ることができたのと、親子で取り組めたのがよかった!

子どもがゲーム感覚で、とても楽しそうに身体を動かしていた!

大人は身体ストレッチができて良いリフレッシュになった!

(オンライン参加者)見ているだけでは物足りなくなり、一緒に体を動かして楽しい時間を過ごせた!





『子育て支援ヨラム』

令和4年度第3回テーマ
～読書の秋に、最近気になること2点。～

読書の秋到来！今年は3年ぶりに神田の古本まつりも開催され、ようやく街に活気が戻ってまいりました。子どもたちに読書の楽しさを手渡す「読み聞かせ」の活動も、各地で徐々に再開され始めています。とはいえ、油断は禁物。受け入れ側と活動側が協力して、安全で楽しいおはなし会の在り方を模索してゆきたいものです。

そんな今、読み聞かせに関わる、最近気になることを、皆様と共有させていただきます。

社会情勢と読み聞かせ

2月にロシアによるウクライナへの侵攻が始まって以来、戦争や平和を伝える絵本が注目を浴び、マスコミでも多く紹介されたことは、皆様のご記憶にも新しいことでしょう。もとより、読み聞かせの現場に宗教・政治・差別に関することは持ち込み厳禁。反対に愛や平和のような普遍的な理念は譲らずに貫くべきです。その意味においても、戦争や平和について、子どもに伝えるべき絵本はたくさんあります。でも、今子どもたちは、戦争のある世界に生きています。連日届く情報に、傷つき不安になっています。そんな子どもたちに対し、今私たちがすべきことは、子どもたちが安心できる絵本を読むことです。子どもたちに伝えるべきことは「自分を知ること、隣人を知ること、世界を知ること、知らないことを知ること。世界は生きるに値するということ」これに尽きると私は思うのです。

読みきかせの速度

大学では1年生と3年生に児童文化を教えています。学生は皆、保育士や幼稚園教諭、児童館職員など、子どもの育ちに関わる職業を目指しています。そんな学生たちの保育実技を見ていると、読み聞かせやわらべうたのテンポが、非常に速いことに驚かされます。いろいろ話を聞いたところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、授業はオンラインとなり、そのほとんどを1.5倍速や2倍速で視聴していたということで、わらべうたも素話も「対面授業でリアルに聞くと、思っていたよりゆっくりで、先生たちの声が低いと感じた」とのこと。試しに、学生と私で同じ絵本を読んだところ、私が3分弱かかった絵本を、学生は2分強で読んでいました。実に1.5倍速です。でもこれは、学生に限った現象ではなく、社会全体のテンポが速くなっているのでしょうか。どうぞ、今一度ご自分の読み聞かせや話す速度を確認してみてください。マスク生活が続く今だからこそ、人の声で語られる心地よいリズムを子どもたちに届けたいですね。

